



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月9日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社
 コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 河合 瑞人

TEL 03-5777-5120

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	22,135	9.7	127	73.7	277	392.2	256	
2021年3月期第3四半期	20,181	16.6	73	93.1	56	94.6	270	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 342百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 296百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	24.16	
2021年3月期第3四半期	25.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	35,922	14,154	38.9	1,316.05
2021年3月期	33,775	14,108	41.3	1,313.96

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 13,986百万円 2021年3月期 13,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		27.00	27.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	107.2	490	116.1	660	162.1	360	117.5	33.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	11,459,223 株	2021年3月期	11,459,223 株
2022年3月期3Q	831,453 株	2021年3月期	831,403 株
2022年3月期3Q	10,627,814 株	2021年3月期3Q	10,627,846 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が9月30日をもって解除され、徐々に経済活動が回復しつつあり、個人消費につきましても10月より回復基調に入り、コロナショック前と同等程度の水準まで戻りつつありましたが、12月下旬から新型コロナウイルスのオミクロン株拡大を受け、第6波の懸念が払拭できず、原材料、エネルギー価格の高騰もあり、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、消費者の行動変容に伴い業態や立地で業績が分かれており、外出自粛等による消費マインドの冷え込み、感染症対策での営業体制、ネットショッピングに拡大傾向がみられるなど、今後の推移に最新の注意を払う必要があると考えております。

このような環境の中、当社グループは、従業員の健康・安全を最優先に配慮した上で、感染対策を徹底して事業の継続に注力するとともに、成長を持続するため各事業において、人材育成、商品力の強化、構造改革に取り組みました。

この結果、当グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、一部商業施設の臨時休業や外出自粛などの影響もありましたが、221億35百万円(前年同期比9.7%増)となりました。営業利益は1億27百万円(前年同期比73.7%増)となり、経常利益は、2億77百万円(前年同期比392.2%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、2億56百万円(前年同期は2億70百万円の損失)となりました。

なお、収益認識に関する会計基準等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、当社の場合、前年四半期及び前事業年度の数値につきましては、前期に公表した数値のままとなっております。詳しくは8ページをご参照ください。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 宝飾品

外部顧客への売上高は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による消費マインドの冷え込みや一部商業施設の時短営業やそれに伴う外出自粛などの影響もありましたが、188億7百万円(前年同期比9.2%増)となり、セグメント利益は2億55百万円(前年同期比50.5%増)となりました。

② 眼鏡

外部顧客への売上高は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による消費マインドの冷え込みやそれに伴う外出自粛などの影響もありましたが、18億55百万円(前年同期比8.3%増)となり、セグメント利益は、新規出店に伴う販売管理費等の増加もあり、28百万円(前年同期比79.3%減)となりました。

③ 食品販売・飲食店

外部顧客への売上高は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による商業施設の営業時間の短縮などもありましたが、14億72百万円(前年同期比18.2%増)となり、セグメント損益は1億60百万円の損失(前年同期は2億39百万円の損失)となりました。

当四半期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンパレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	368	64	30
新規出店	8	4	1
閉店	△6	—	—
当四半期末店舗数	370	68	31

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の337億75百万円より21億46百万円増加し、359億22百万円となりました。主な増減は、商品及び製品などの棚卸資産の増加11億68百万円、現金及び預金の増加6億1百万円及び受取手形及び売掛金の増加5億40百万円と、敷金保証金の減少1億45百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末の196億67百万円より21億1百万円増加し、217億68百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加11億76百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加4億94百万円と、支払手形及び買掛金の増加5億42百万円及び賞与引当金の減少2億16百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末の141億8百万円より45百万円増加し、141億54百万円となりました。主な増減は、親会社株主に帰属する四半期純利益2億56百万円の計上による利益剰余金の増加と、剰余金の配当2億86百万円による利益剰余金の減少などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、適正かつ合理的な算出が困難なため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、通期の業績予想を公表することといたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,376	8,978
受取手形及び売掛金	2,181	2,721
商品及び製品	10,368	11,176
仕掛品	1,544	1,422
原材料及び貯蔵品	2,673	3,155
その他	269	194
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	25,413	27,648
固定資産		
有形固定資産	2,448	2,426
無形固定資産	190	172
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,675	2,530
その他	3,049	3,145
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,723	5,674
固定資産合計	8,362	8,274
資産合計	33,775	35,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,202	4,744
1年内返済予定の長期借入金	3,628	4,123
未払法人税等	79	127
賞与引当金	427	211
その他	2,506	2,568
流動負債合計	10,844	11,775
固定負債		
長期借入金	6,485	7,662
役員退職慰労引当金	667	687
退職給付に係る負債	1,586	1,566
資産除去債務	71	65
その他	11	10
固定負債合計	8,822	9,993
負債合計	19,667	21,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	9,613	9,559
自己株式	△570	△570
株主資本合計	13,999	13,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	62
為替換算調整勘定	△72	△11
退職給付に係る調整累計額	△14	△9
その他の包括利益累計額合計	△35	41
非支配株主持分	144	167
純資産合計	14,108	14,154
負債純資産合計	33,775	35,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	20,181	22,135
売上原価	8,111	9,328
売上総利益	12,070	12,807
販売費及び一般管理費	11,996	12,679
営業利益	73	127
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	4	3
受取手数料	21	21
為替差益	—	153
その他	16	6
営業外収益合計	44	185
営業外費用		
支払利息	27	28
為替差損	13	—
その他	20	6
営業外費用合計	61	35
経常利益	56	277
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取補償金	28	—
助成金収入	219	203
特別利益合計	247	203
特別損失		
店舗閉鎖損失	5	4
減損損失	83	7
関係会社整理損	5	—
臨時休業による損失	422	81
特別損失合計	517	93
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△213	387
法人税等	55	122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△269	265
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	8
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△270	256

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△269	265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	10
為替換算調整勘定	△17	61
退職給付に係る調整額	△5	4
その他の包括利益合計	△26	76
四半期包括利益	△296	342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△296	333
非支配株主に係る四半期包括利益	0	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)および「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)(以下「収益認識会計基準等」という。)を第1四半期連結会計期間の期首より適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用による主な変更点は、以下のとおりです。

(他社ポイントの付与)

他社ポイント付与相当額については、従来は「販売費及び一般管理費」として計上していましたが、売上高から減額しております。

(眼鏡セグメントにおける保証契約)

眼鏡セグメントにおける保証契約(ジュニアサポート)については、従来は契約時に収益認識しておりましたが、顧客の権利行使が見込まれる時期に変更しております。

(輸出売上)

海外子会社の一部において、従来は通関承認基準によって収益認識しておりましたが、船積日基準に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は46百万円減少し、売上原価は8百万円減少し、販売費及び一般管理費は34百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は24百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月13日 取締役会	普通株式	286	27円00銭	2020年3月31日	2020年6月10日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年5月12日 取締役会	普通株式	286	27円00銭	2021年3月31日	2021年6月14日	利益剰余金